

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白

記

項目名

● リンパ腫複合解析 「TML解析」

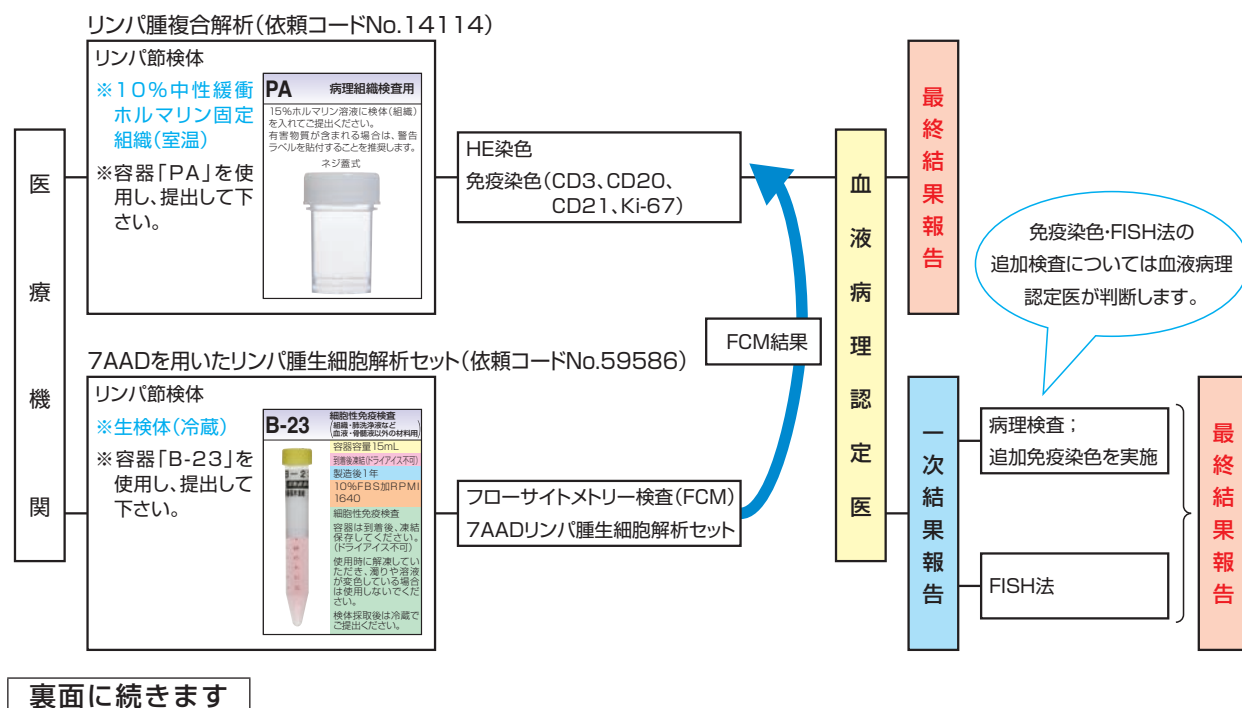
(依頼コード No.14114)

受託開始日 2026年2月2日(月) ご依頼分より

※本検査をご依頼頂く場合、併せて「7AADを用いたリンパ腫生細胞解析セット(依頼コードNo.59586)」の依頼が必要です。依頼書No.BYG-5を使用し、別途検体をご用意の上、ご依頼をお願いいたします。下記、検査のフローチャートを参照ください。

本検査はリンパ腫に対して、病理組織検査に加え、フローサイトメトリー検査(7AADを用いたリンパ腫生細胞解析セット)や、必要に応じて染色体検査(FISH法)を実施し、その検査結果から総合的に解析します。血液病理認定医が必要最低限の検査で、迅速に、精度の高い検査結果を報告いたします。

【リンパ腫複合解析検査のフローチャート】



受託要領

依頼コードNo.	14114
検査項目名	リンパ腫複合解析「TML解析」
検体必要量	10%中性緩衝ホルマリン固定組織
容器	PA
検体の保存方法	室温
所要日数	一次結果報告： 9～13 最終結果報告：18～25 (症例により遅延する場合があります。)
検査方法	HE染色、免疫組織化学染色(IHC法)
報告様式	病理組織検査報告書(リンパ腫)
検査実施料	860点+400点+1200点(病理組織標本作製+免疫染色病理組織標本作製+確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者に対して標本作製を実施した場合) ※フローサイトメトリー法 7AAD；1940点 ※FISH法；2477点(1種につき)
備考	<p>・【曜日指定項目】 受託可能曜日：月～金</p> <p>・別途、「7AADを用いたリンパ腫生細胞解析セット(依頼コードNo.59586)」の依頼が必要です。依頼書No.BYG-5を使用してご依頼をお願いします。</p> <p>・免疫染色およびFISH法の追加検査につきましては、弊社一任とさせていただきます。</p> <p>・G-分染法、サザンブロット法などの検査をご希望の際は別途ご依頼をお願いいたします。</p> <p>・本検査は血液病理認定医が報告書を作成いたします。</p> <p>協力医 大島 孝一 先生 【久留米大学 名誉教授】 加藤 省一 先生 【佐賀大学医学部 教授】 田丸 淳一 先生 【PCL Japan 病理・細胞診センター所長 /埼玉医科大学名誉教授】 中峯 寛和 先生 【日本バプテスト病院 部長】 中村 直哉 先生 【東海大学医学部 客員教授】 百瀬 修二 先生 【埼玉医科大学総合医療センター 教授】 吉野 正 先生 【岡山大学大学院 名誉教授・特任教授】</p>

50音順

詳細な説明をご希望される場合は、弊社営業員にご連絡ください